

生徒の活動を取り入れた人権についての学習方法

渋谷区立広尾中学校 関 基 雄

1 はじめに

憲法や人権の学習というと定着させたい基礎的な学習内容が多く、とかく知識・理解中心の授業となりやすい。しかし、人間尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めていくためには、生徒の身近な経験を通して実感として理解し、考えを深めることが必要である。また、今年度から相対評価から絶対評価に変わり、各単元の中で、興味・関心や思考・判断、資料活用能力や態度も評価していかなければならない。

帝国書院『中学生の歴史（最新版）』p.109（以下、教科書）の「やってみよう」は身近な事例を取り扱っていて生徒にもわかりやすいため、生徒が主体的に活動を行い、基本的人権について考えていくことができる。そこで、ロールプレイによる活動で終わりにするのではなく、その後の話し合い活動のやり方を中心にこの事例を紹介していきたい。

なお、指導計画では学習指導要領の配列順にならない経済先習となり、この単元の実施が10月となるが、入試等にも問題はなく語句の理解にとどまらずしっかりと指導していく必要がある。

2 指導時間の工夫

単にロールプレイをやらせるだけでなくその内容について考えさせると準備に時間がかかり、準備とロールプレイ、そこで発表された内容についての話し合いとで最低3時間は必要となる。時間を確保するために、このロールプレイを平等権の学習だけで扱うのではなく教科書p.106～113の差別や偏見についての学習に位置づけて行うなど時間確保の工夫が必要である。

学習計画（3時間構成）

1 時間目：偏見や差別について考える

- ・差別についてどう思うか、意見をださせる。
- ・身近な例で家族について考えようと、教科書のp.109の「やってみよう」を取り上げる。
- ・まず設問の①から③までをやらせる。設問④に


ついて次の時間に発表をさせることを伝える。

（留意点）

母親の最後のせりふ一言だけを考えてしまうところもあるので、シナリオの後半を考えるようにアドバイスする。

やってみよう ～あなたならどうする？

家族構成 お父さん(34歳)
お母さん(30歳)
長男 深(6歳)
長女 碧典(3歳)



お父さん：ごちそうさま。今日の夕食はおいしかったな。お母さんは料理の達人だ。
お母さん：ほんただね。
お母さん：そんなにほめてもらってうれいわ。ところでお父さん、ちょっとお話があるの。
お父さん：なんたい息にあらたまつて。
お父さん：実は、私もまた仕事をやりたいと思っているの。
お父さん：仕事？どうしてまたそんなこと言い出すんだい。生活が苦しいのかい。
お母さん：そういうことではないの。ただ、洋が生まれてからずっと家事だけをやってるでしょ。家事も楽しいけれど、働きにも行きたいの。以前やっていた旅行業の仕事にもう一度ついでみたいと思ってるんだけど。
お父さん：そんなこと言ってもな。あなたはわからないでもないけれど、家の仕事はどうなるんだい。まだ碧典も3歳だよ。おまえの分も私ががんばってかましてくるから。家の仕事をやっつけられないかな。
お母さん：「
」

① お母さんの最後の言葉を考えて「」にきき入れてみましょう。
② お母さんが仕事をやりたいということについて、あなたはどう考えますか。
③ ②について、グループのなかで話し合いをしてみましょう。
④ ③で話し合った結果にもとづいて、グループで話のつづきを考えて演じてみましょう。

帝国書院『中学生の公民（最新版）』p.109

2 時間目：各班の発表

- ・各班の発表（1グループ6分程度）
- ・振り返り（どこのグループの発表がよかったか、他のグループの発表を聞いて感想をまとめる）

（留意点）

- ・各班の発表内容をメモし、相互評価の欄、今日の授業を振り返っての感想が記入できるワークシートの用意
- ・テーブルクロスや湯飲みなど食卓の雰囲気を出す小道具の用意すると生徒もその気になりやすく効果がある。

3 時間目：前時の発表内容についての整理

- ・前時で行った各班の発表内容の整理
- ・どのような結論がいいのか話し合う
- ・話し合った結果をワークシートにまとめる

3 話し合いのポイント

話し合いを行うためには、どのような意見がでるのか予想し、論点となるポイントをまとめてお

ワークシート

ワークシート		
年 組 番 班 氏名		
班	発表内容メモ	評価

1 発表が上手だったところはどこですか、どんなところが参考になりましたか。

2 他の班の発表を聞いてどのような結論がよいと思いましたか

3 話し合いをしてあなたの意見はどうになりましたか。

4 劇をやったり話し合いをしました。自分の活動を自己評価するとA～Cのうちどれだと思いますか、その理由も書きましょう。

理由

5 あなたの班でがんばって活動していた人は誰ですか。

くことが必要となる。

このような事例を生徒に考えさせた場合、生活に困っていないならば、家族のことを考えて母親ががまんするか、あるいはパートタイマーとして短時間働きに出るといった結論を出すことが多い。これは、実際に両親が共働きをしている家庭が多く、母親の立場で考えるよりも残された子どもの立場で考えるためといえよう。

また、グループによっては父親が協力して家事をやり、母親が働きに出る時間を作る工夫をするという結論をだすところもある。

話し合いの手順としては、母親ががまんするあるいはパートタイマーとして働きに出るといった意見のグループと母親が働きに出ることを認める意見のグループがでた場合には、そのグループ同士で討論をさせてみたい。その討論を聞いているうちに他の生徒からの意見もでてきて話し合いが活発になっていく。

活発に話し合いが行われたり、また話し合いがうまく進まないときに教師が論点の整理を行う必要がある。この事例でポイントとなるのは憲法24条の考えに立って考えられているかということである。そこで、まず、「どうして母親は働きに出たいと言っているのか」投げかけ、その理由を考

えさせたい。働くことの目的には収入を得ることが大きいだけでなく、働くことが生き甲斐になっていることにも気づかせたい。これは社会科の授業にとどまらず、3年生の2学期になり真剣に進路を考えるようになっていっている中で、進路指導の上からもたいせつなことである。

この母親が自分の生き甲斐を求めて働きたいと理解した上で、「このおかあさんは働くことをがまんしなければいけないのだろうか」と投げかけ、生徒に考えさせたい。このことは差別にもつながり、日ごろおとなしい生徒でも身近な経験とつながり、母親ががまんすることはおかしいという意見を主張するなど、あまり発言をしない生徒の本音の意見が聞ける場面となる。

いろいろな意見がだされた上で、憲法24条に「家族生活における個人の尊厳と両性の本質的平等」が掲げられていることを教える。そして、それぞれのグループの結論がこの憲法の規定にあったものになっているか再度グループ内で話し合いを行わせ、吟味させ結論を発表させる。

話し合いをさせるときに不安になることが、あまり意見がでずに、活発な話し合いにならないときどうしたらよいかということである。話し合い活動がうまくいくためには二つの要素があると思

▼②さまざまな平等権 下のイラストは、それぞれ憲法の第何条で保障された権利でしょうか。



帝国書院『中学生の公民（最新版）』p.109

われる。一つはクラスの雰囲気である。だれでもどんな意見でも言いやすい雰囲気があるクラスは生徒も安心して意見をだせるようになる。もう一つは、話し合い活動に慣れていることである。積極的に意見がでなくても、自分の意見をもっている生徒は多い。それは、あまり意見がでないときに意見を書かせてみると、かなりの生徒が意見を書いてくることからわかる。意見をださない生徒の多くは自分の意見に自信がなくてだせないことが多い。それゆえ話し合い活動も練習が必要であり、何度も繰り返しやっていくことで、自分の意見が求められることがあたりまえになり、他の人の意見も聞いて自分と同じ意見の人がいれば違う人もいることがわかると、活発に意見を言うようになる。

話し合いにいない場合は、無理に意見をださそうとしないで、プリントなどに意見を書かせ、グループ内でお互いの意見を発表しあったり、生徒が書いた意見を集め、教師がそれぞれの意見を読み上げ、他の生徒がどんな意見をもっているのかを伝えてあげるとよい。そして、他の人の意見を聞いた感想をまとめさせたい。こうしたことを繰り返していくうちに、だんだんと意見を発表するようになっていく。

4 評価について

こうした活動をやった場合にどう評価するかということが大きなポイントとなる。特に絶対評価となった今年度からは、こうした活動を観点別に

評価できるようになることが求められている。そこで、評価の方法と観点別の評価規準例を示しておきたい。

興味・関心・態度

ロールプレイの活動にも積極的に参加し話し合い活動でも自分の意見をもっていた。

評価方法：教師による活動の観察、ワークシートの自己評価・相互評価、ワークシートの記述

社会的な思考・判断

憲法 24 条にある「個人の尊厳と両性の本質的平等」に基づいた意見をもったり判断をしている。

評価方法：話し合い活動での意見、ワークシートの記述

資料活用の技能・表現

自分の意見を資料等を用いて述べている。

評価方法：話し合いでの活動観察

知識・理解

「個人の尊厳と両性の本質的平等」を含めて憲法で保障されている基本的人権の平等権を理解している。

評価方法：話し合い活動での意見、ワークシートの記述